

令和6年度シラバス (理科)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	理科 (生物基礎)	単位数	2単位	学年(コース)	4学年
使用教科書	数研出版『生物基礎』				
副教材等	数研出版『リードLight ノート生物基礎』、数研出版『リードα 生物基礎 完成ノート』 数研出版『フォトサイエンス生物図録』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル (地域的・地球的) な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。 ②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。 ③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。 ②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。 ③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。 ④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。 ⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。

2 学習目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3 指導の重点

①生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ、それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。 ②遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して、生物や生命現象に対する興味・関心を高める。 ③観察、実験を通して生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。 ④生物や生命現象の中から問題や課題を見出し、観察、実験などを通して探究する姿勢を身に付ける。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・課題考査、定期考査における解答状況 ・課題レポートや実験レポートにおける記述の状況 ・その他、提出物における記述の状況 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題考査、定期考査における解答状況 ・課題レポートや実験レポートにおける記述の状況 ・発表やグループ活動での活動状況 ・その他、提出物における記述の状況 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題レポートや実験レポートにおける記述の状況 ・発表やグループ活動での活動状況 ・振り返りシートなどへの記述の状況 ・提出物の提出状況 などから、評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業 時 数	学習活動(指導内容)	評価方法
4	生物基礎を学ぶにあ たって 探究のプロセス	2	生物基礎で学習する内容の概要を把握する。学習を進めるうえで重要となる探究のプロセスについて理解する。顕微鏡の使い方を習得する。	課題提出 (記述の点検) 実験レポート (記述の分析) 実験レポート (記述の分
4	1. 生物の多様性と 共通性 生物の多様性、生物 の多様性・共通性とそ の由来、生物の共通 性としての細胞	5	生物は多様でありながら、共通性をもっていることを理解する。生物の共通性と多様性は、生物の進化の結果であることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 課題提出 (記述の点検)
5	2. エネルギーと代 謝 生命活動とエネルギ ー、代謝とエネルギ ー、ATP	3	生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。細胞の生命活動のエネルギーはATPの形で供給されることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 課題提出 (記述の点検) 課題提出 (記述の点検)
5	3. 呼吸と光合成 呼吸、光合成、エネル ギーの流れ、酵素	5	呼吸や光合成の過程でATPが合成されることを理解する。酵素の特徴を理解するとともに、酵素によって生体内で必要な化学反応が進行することを理解する。	課題提出 (記述の点検) 実験レポート (記述の分析)
6	1. 遺伝情報とDNA 遺伝情報を含む物質 -DNA、DNAの構造	5	DNAは2本のヌクレオチド鎖からなる二重らせん構造をしていることを理解する。遺伝情報はDNAの塩基配列にあることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 実験レポート (記述の分析)
6	2. 遺伝情報の複製 と分配 遺伝情報の複製、遺 伝情報の分配	6	DNAが、半保存的に複製されることを理解する。細胞周期の進行に伴って、DNAが正確に複製され、2つの細胞に分配されることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 実験レポート (記述の分析)
7	3. 遺伝情報の発現 遺伝情報とタンパク 質、タンパク質の合 成、分化した細胞の 遺伝子発現、遺伝情 報と遺伝子、ゲノム	6	タンパク質のアミノ酸配列は、DNAの塩基配列によって決まることを理解する。個体を構成する細胞は遺伝的に同一であるが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 実験レポート (記述の分析) 課題提出 (記述の点検)
9	1. 体内での情報伝 達と調節 体内での情報伝達、 神経系による情報の 伝達と調節、内分泌 系による情報の伝達と 調節	6	体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。自律神経系と内分泌系による情報伝達によって、からだの状態の調節が行われることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 課題提出 (記述の点検)

10	2. 体内環境の維持のしくみ 体内環境の維持、血糖濃度の調節のしくみ、血液の循環を維持するしくみ	6	ホルモンと自律神経のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 課題提出 (記述の点検)
11	3. 免疫のはたらきからからだを守るしくみ-免疫、自然免疫、適応免疫、免疫と病気	6	からだに、異物を排除する防御機構が備わっていることを理解する。免疫と病気の関係や、免疫が医療に応用されていることについて理解する。	課題提出 (記述の点検) 課題提出 (記述の点検)
12	1. 植生と遷移 植生、植生の遷移	5	植生の成りたちや相観について理解する。植生が時間の経過とともに移り変わっていくことを理解する。	課題提出 (記述の点検) 課題提出 (記述の点検)
1	2. 植生の分布とバイオーム バイオームの成立、世界のバイオーム、日本のバイオーム	5	世界各地には、多様なバイオームが成立していることを理解する。気候条件によっては、遷移の結果として森林のほか草原や荒原にもなることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 実験レポート (記述の分析) 課題提出 (記述の点検)
2	3. 生態系と生物の多様性 生態系の成りたち、生態系と種多様性、生物どうしのつながり	5	生態系の成りたちを理解する。生物どうし関係が種多様性の維持にかかわっていることを理解する。	課題提出 (記述の点検) 実験レポート (記述の分析) 課題提出 (記述の点検)
3	4. 生態系のバランスと保全 生態系のバランス、人間の活動と生態系、生態系の保全	5	生態系がもつ復元力について理解する。人間活動が生態系に及ぼす影響について理解する。生態系の保全の重要性について理解する。	課題提出 (記述の点検) 実験レポート (記述の分析) 課題提出 (記述の点検)

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・ 単元ごとの演習問題プリント
- ・ 長期休業中の課題
- ・ 実験レポート など

8 担当者からの一言

- ・ 目的を持って現象の観察や実験を行い、結果について自分で考えをまとめ、発表を通じて理解を深めること。
- ・ 授業中に理解できなかった事や疑問は、速やかに質問に来て、早めに解決すること。
- ・ しっかりと学習して定期考査に臨むこと。
- ・ 課題は必ず自力で行い、期日を守って提出すること。

(担当: 間島 絵里子)